

平成31年3月25日
福島県
会津若松市
東日本旅客鉄道株式会社仙台支社

会津若松駅前広場の整備等を起点とした会津地域の観光振興等 に関する包括連携協定の締結について

福島県（知事：内堀 雅雄）と会津若松市（市長：室井 照平）、東日本旅客鉄道株式会社（執行役員仙台支社長：坂井 究）の3者は、会津若松駅前広場の整備等を起点とした会津地域の観光振興等に関する包括連携協定を3月25日（月）に締結しました。

1 協定の目的

3者が相互に情報共有や意見交換に努め、関係施策等について緊密に連携し協力することで、会津地域の観光振興等を図り、相互の持続的な発展を目指すことを目的とします。

2 連携事項

- ・会津若松駅前広場の整備等を通じたまちづくりの推進に関すること
- ・公共交通利用の推進に関すること
- ・観光振興に関すること
- ・防災・災害対策の推進に関すること
- ・その他、会津地域の振興等に関すること

3 期間

平成31年3月25日から10年間

4 別添

別紙 主な連携の取り組み

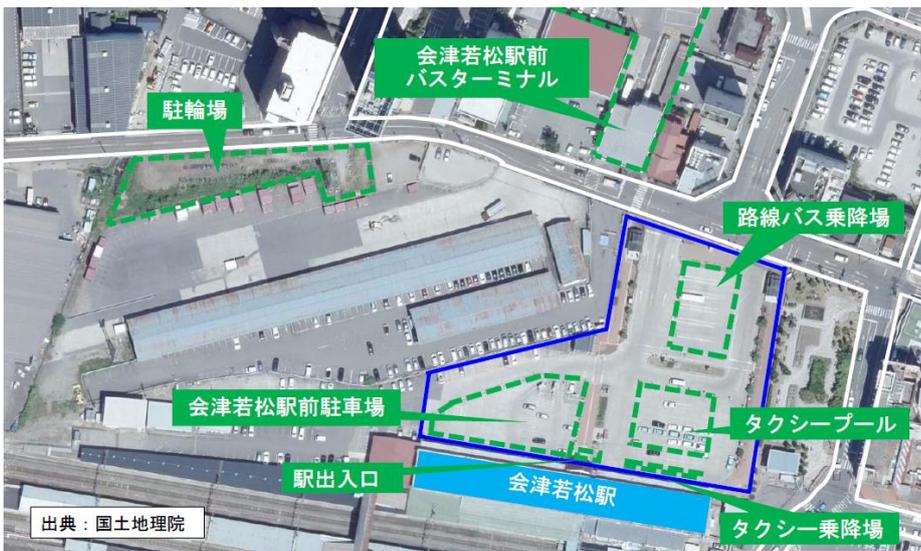
主な連携の取り組み

福島県と会津若松市、JR東日本仙台支社は、相互に情報共有や意見交換に努め、関係施策等について緊密に連携し協力することで、会津地域の観光振興等を図り、相互の持続的な発展を目指します。

1 会津若松駅前広場の整備等を通じたまちづくりの推進に関すること

◇ 駅前広場及び周辺道路等の整備推進【新規】

- ・会津若松駅の交通結節点としての機能向上、会津地域の玄関口としての魅力づくり

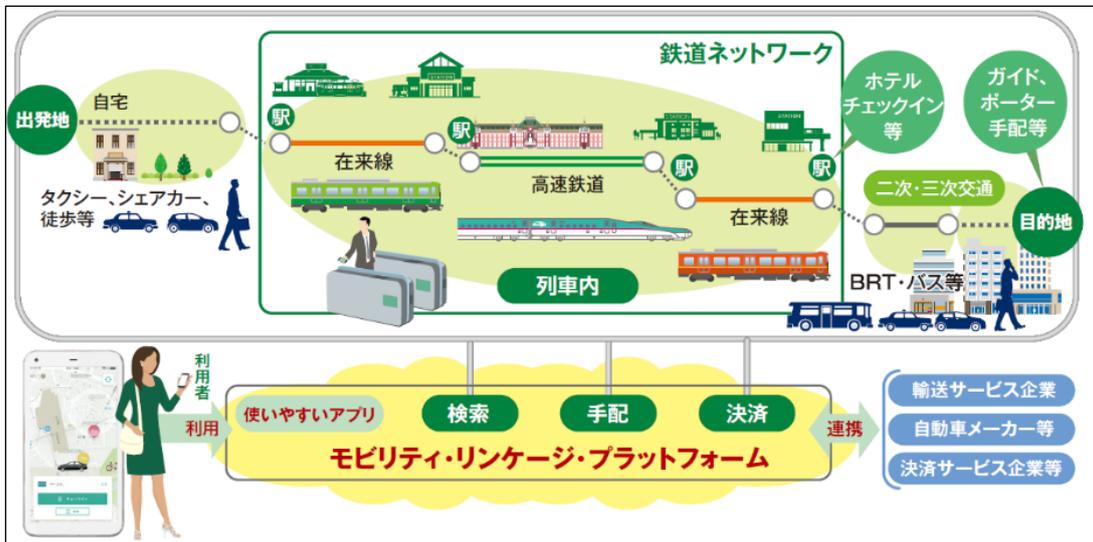


現在の会津若松駅前広場

2 公共交通利用の推進に関すること

◇ 安全でシームレスな交通ネットワーク構築の検討【新規】

- ・会津若松駅における2次交通への接続向上
- ・経路検索・予約・決済をワンストップで提供する「モビリティ・リンケージ・プラットフォーム」づくりを目指した地域交通事業者との連携強化



安全でシームレスな交通ネットワーク構築(イメージ)

3 観光振興に関すること

◇ 会津若松駅における観光案内の強化【新規】

- ・観光案内所と「びゅうプラザ」のワンフロア化による利用者の利便性向上

◇ 磐越西線・只見線の活性化【新規・継続】

- ・磐越西線における指定席着席サービス導入の検討
- ・「のってたのしい列車」の活用による魅力ある旅の創出

◇ 着地型観光の促進・情報発信【継続】

- ・大型観光キャンペーン（重点販売地域等）の展開
- ・極上の会津プロジェクト協議会と連携した、首都圏を含む駅でのポスター等の掲出

◇ インバウンド誘客に向けた取り組み強化【継続】

- ・インバウンド誘客に向けた観光素材の掘り起こし・情報発信・受入態勢の強化
- ・多言語による輸送障害時の情報提供

◇ 地域活性化イベントへの協賛、支援【継続】

- ・JR東日本管内の駅構内等において、会津地域をはじめとした福島県の物産品の産直市開催



観光案内所・「びゅうプラザ」
ワンフロア化(イメージ)



磐越西線

4 防災・災害対策の推進に関すること

◇ 交通情報の自治体等への提供・代替手段の確保【継続】

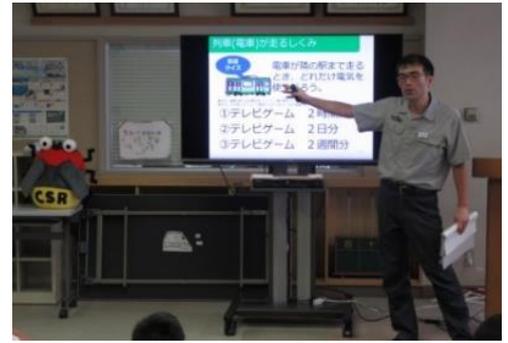
- ・運休、運転再開情報の速やかな提供
- ・早期の代替交通手段（バス等）の確保

5 その他、会津地域の振興等に関すること

〈子ども青少年育成に関すること〉

◇ 小学生に対する環境等教育の実施【継続】

- ・ JR東日本による環境問題等についての出前授業



出前授業

〈健康づくりに関すること〉

◇ 「ふくしま健民パスポート」事業の取り組み【継続】

- ・ 会津地域への周知強化

◇ チャレンジふくしま県民運動の取り組み【継続】

- ・ ウォークビズポスター等を駅等へ掲出



〈環境に関すること〉

◇ 公共交通利用促進の周知等の取り組み【継続】

- ・ 各種メディアを活用した鉄道等の公共交通利用促進

◇ 「福島議定書」事業の取り組み【継続】

- ・ JR東日本が保有する鉄道林等の適切な維持管理による環境保全